

当地域の景気動向

(2021年4月9日現在)

各調査機関が発表している当地域の景気動向をまとめました。

最近の管内総合経済動向（中部経済産業局）

<http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/doko.html>

(3月公表要旨)

- 【生産】 増加している。
- 【個人消費】 緩やかに持ち直している。
- 【設備投資】 製造業を中心に弱い動きが広がっている。
- 【公共投資】 堅調に推移している。
- 【住宅投資】 弱い動きとなっている。
- 【輸出】 増加している。
- 【雇用】 需給が緩和している。

このように、管内の経済活動は、緩やかに持ち直している。

あいち経済の動き（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000087453.html>

(3月公表 報告書1月)

- 【生産】 鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比1.3%の上昇
- 【投資(設備投資)】 金属工作機械総受注高は、前年比2.4%の減少
- 【投資(住宅建設)】 新設住宅の月間着工戸数は、前年比22.0%の減少
- 【個人消費】 百貨店・スーパー販売額は、前年比3.5%の減少
- 【雇用】 有効求人倍率は、1.03倍
- 【貿易(輸出)】 名目輸出額は、前年比3.5%の増加
- 【投資(公共工事)】 公共工事の月間請負金額は、前年比25.1%の減少
- 【貿易(輸入)】 名目輸入額は、前年比13.3%の減少
- 【企業(倒産)】 月間倒産件数は、前年比43.4%の減少
- 【金融】 貸出残高は、前年比20.5%の増加
- 【物価(企業)】 企業物価指数は、前年比1.5%の下落
- 【物価(消費者)】 名古屋市消費者物価指数は、前年比0.7%の下落

愛知県経済の現状と見通し（(株)三十三総研）

https://www.miebank.co.jp/33ir/research/aichi_keizaijyousei.html

(3月公表要旨)

- 【景気の現状】 厳しい状況にあるものの、下げ止まりの動きが広がっている
- 【当面の見通し】 下げ止まりの動きが続くと期待されるものの、そのペースは一部で鈍化する見通し
- 【個人消費】 下げ止まりの動きが弱まっている
- 【雇用】 下げ止まりの動きがみられる
- 【住宅投資】 弱含んでいる
- 【企業活動】 足踏み
- 【企業倒産】 一進一退
- 【輸出】 持ち直しつつある
- 【公共投資】 持ち直しの動きがみられる

東海3県の金融経済動向（日本銀行名古屋支店）

<http://www3.boj.or.jp/nagoya/kouhyou/getsurei.html>

（3月公表要旨）

東海3県の景気は、厳しい状態が続くなかでも、持ち直している。

【輸出】	増加基調にある
【設備投資】	横ばい圏内となっている
【個人消費】	全体としては持ち直し傾向にあるが、飲食・宿泊サービス等で下押し圧力の強い状態にある
【住宅投資】	弱い動きとなっている
【公共投資】	高めの水準で推移している
【生産】	増加基調にある
【雇用・所得】	弱い動きがみられている
【物価】	前年を下回っている
【貸出】	運転資金需要を背景に、前年を大幅に上回っている
【貸出金利】	引き続き低下傾向にある
【預金】	前年を大幅に上回っている

景況レポート（いちい信金）

<http://www.shinkin.co.jp/ichii/keikyo.html>

（2021年4月発行）

今期（1～3月）の実績見込み

業種別でみると、全業種、製造業、卸売業、建設業、運輸・通信業は改善、それ以外の業種は下降となった。

来期（4～6月）の見通し

業種別でみると、運輸・通信業は横ばい、それ以外の業種は改善する見通しである。

中小企業景況調査（愛知県商工会連合会）

（1月～3月期実績、4月～6月期見通し）

産業全体の景況は売上額、資金繰りが悪化

今期の産業全体の景況は、売上額DIが△52.5、資金繰りDIが△36.2となり、対前期比でそれぞれ2.5ポイント、4.0ポイント悪化し、採算DIは△44.4で、1.9ポイント上昇した。産業別では、製造業及び小売業の全指標の好転・上昇、サービス業の全指標の悪化が目立つ結果となった。

次期の産業全体の景況は、全指標が好転、上昇する見通しである。